

小児科業績 2003年

「原著」

- 1) Arisaka O, Kojima M, Numata M: Issues in interpreting lipoprotein (a) value as a risk indicator for early cardiovascular disease. *Acta Paediatr* 92:1226-1227, 2003.
- 2) Kano K, Arisaka O: Re: The efficacy and safety of oral desmopressin in children with primary nocturnal enuresis. *J Urol* 170:550, 2003.
- 3) Kano K, Nishikura K, Yamada Y, Arisaka O: Effect of fluvastatin and dipyridamole on proteinuria and renal function in childhood IgA nephropathy with mild histological findings and moderate proteinuria. *Clin Nephrol* 60:85-89, 2003.
- 4) Kano K, Arisaka O: Relationship between fluvoxamine and stress barometer for nocturnal enuresis. *Pediatr Int* 45:688-691, 2003.
- 5) Kanno H, Numata M, Kojima M, Koyama S, Kanazawa S, Arisaka O: The course of body mass index from infancy to childhood: Are there any properties of adipose development that predispose to obesity? *Clin Pediatr Endocrinol* 12(Suppl 20): 51-53, 2003.
- 6) 加納健一, 安藤保, 山崎トヨ, 福田哲夫, 星紀彦, 影山さち子, 上山泰淳, 石井徹, 中村みちる, 加藤一昭, 福田順一, 小堀進, 岡部ケイ子, 佐藤和宏, 福島一俊, 浅間健: 河内郡学校腎臓検診について(平成14年度). *栃木県医学会会誌* 33:171-173, 2003.
- 7) 加納健一, 有阪治: 獨協医科大学小児科(内分泌)におけるBSLの総合評価と基本的論述試験との相関関係について. *栃木県医学会会誌* 33:182-184, 2003.
- 8) 小嶋恵美: LDL粒子サイズからみた生活習慣病に伴う血中脂質異常値の検討. *肥満研究* 9:336-341, 2003.
- 9) 菅野普子, 有阪治: 乳児期から7歳までのBMIの変化: adiposity rebound についての検討. *ホルモンと臨床* 51:973-976, 2003
- 10) 安藤保, 佐藤和子, 福田哲夫, 星紀彦, 谷野定之, 加納健一, 影山さち子, 上山泰淳, 石井徹, 中村みちる, 加藤一昭, 福田順一, 小堀進, 園部ケイ子, 佐藤和宏, 福島一俊, 浅間健: 河内郡学校腎臓検診について(平成13年度). *栃木県医学会会誌* 33:16-17, 2003.
- 11) 西間三馨, 吉原重美他 16名: 小児気管支喘息におけるツロブテロール貼付薬の気道過敏性に及ぼす影響—多施設二重盲検群間比較検討—. *小児アレルギー学会雑誌*, 17:204-209: 2003.
- 12) 奥谷真由子, 坪井弥生, 新田晃久, 三上哲也, 鈴木宏, 田中吾朗, 江口光興: 新生児に対する経皮的中心静脈(PCV)カテーテルの使用について. *獨協医学会誌* 30: 39-44, 2003.

「症例報告」

- 1) Kano K, Nishikura K, Yamada Y, Arisaka O: Failure of growth hormone therapy in a girl with growth hormone deficiency and steroid-induced growth hormone failure caused by prednisolone administration. *Dokkyo J Med Sci* 30:93-96, 2003.
- 2) Kano K, Nishikura K, Kojima M, Yamada Y, Arisaka O, Tomita S, Shimotuji T, Fujikawa Y, Inafuku S, Imakita M, Ueda Y: A patient with membranoproliferative glomerulonephritis diagnosed by the third biopsy via endocapillary proliferative glomerulonephritis and focal membranoproliferative

glomerulonephritis. Clin Exp Nephrol 7:1039-1043, 2003.

- 3) Kano K, Arisaka O: Chyluria due to retroperitoneal lymphangioma producing nephritic syndrome. J Pediatr 143:685, 2003.
- 4) Suzumura H, Nitta A, Ono M, Arisaka O: Neonatal intractable atrial flutter successfully treated with intravenous flecainide. Pediatr Cardiol 26: 226-228, 2003.
- 5) 白岩妙子, 加納健一, 山田裕美, 有阪治: ヱーグロブリンとステロイドパルスおよびフルバスタチン併用療法が有効であったステロイド抵抗性ネフローゼ症候群の4歳女児例. 小児科臨床 56:1546-1550, 2003.
- 6) 加納健一: プレドニゾロン性椎体骨折と硬膜外脂肪腫症を合併していたステロイド依存性ネフローゼ症候群からシクロスポリン短期高トラフ値によって離脱できた1女児例. 新薬と臨床 52:1039-1043, 2003.
- 7) 小野三佳, 吉原重美, 福田典正, 山田裕美, 阿部利夫, 平尾準一, 有阪治: 炎症性メディエーターから考察した閉塞性細気管支炎が疑われた一幼児例. 小児呼吸器疾患学会雑誌 14: 161-167, 2003.
- 8) 菅野普子, 鈴木宏, 奥谷真由子, 清水亜妃, 根岸正穂, 三井昌彦, 新田晃久, 三上哲也, 有阪治: グルカゴン投与が著効した新生児低血糖症の1例. 周産期医学 33:1545-1548, 2003.
- 9) 松永貴之, 坪井龍生, 新田晃久, 三上哲也, 鈴木宏, 江口光興, 大島教子, 渡辺博, 田中吾朗: 巨大胎盤血管腫に合併した胎児水腫の1例. 周産期医学 33: 267-270, 2003.

「著書」

- 1) 有阪治: 小児の2型糖尿病に対する経口薬療法. 糖尿病診療のコツと落とし穴. 河守隆造編, 中山書店, pp.74-75, 2003.
- 2) 有阪治: 小児の高脂血症, 高脂血症ナビゲーター, 山田信博, 他編, メディカルビュー社, pp.274-275, 2003.
- 3) 有阪治: 中枢性思春期早発症. 今日の小児治療指針 (第13版), 大関武彦 他編, 医学書院, 東京, pp.173-174, 2003.
- 4) 吉原重美, 山田裕美, 小野三佳, 福田典正, 阿部利夫: 気道炎症のモニタリング, 喀痰, ECP, LTE4, NO. 西間三馨/森川昭廣編, 図説: 小児喘息の特徴-病態と薬物療法を中心に-, メディカルレビュー社, pp104-129, 2003.
- 5) 吉原重美: 好酸球性肺炎(PIE 症候群). 今日の小児治療指針 (第13版), pp278-279, 2003.
- 6) 吉原重美: 気道炎症マーカーとしてのクレオラ体の検査. 小児外来診療のコツと落とし穴 1, 小児喘息診療, 中山書店, pp22-23, 2003.
- 7) 吉原重美: 外来での簡易な呼吸機能検査-マイクロリントの有用性. 小児外来診療のコツと落とし穴 1, 小児喘息診療, 中山書店, pp26-27, 2003.
- 8) 山田裕美: 落とし穴を回避する画像診断-閉塞性細気管支炎を例に-. 小児外来診療のコツと落とし穴 1, 小児喘息診療, 中山書店, pp 56-57, 2003.
- 9) 山田裕美: 中発作に対するd 1体イソプロテレンール (アスプール) 少量持続吸入療法. 小児外来診療のコツと落とし穴 1, 小児喘息診療, 中山書店, pp 90-91, 2003.

「総説」

- 1) 有阪治：小児の水・電解質異常の特徴と管理. 日本内科学会雑誌. 92:80-88, 2003.
- 2) 有阪治：多飲, 多尿. 小児科診療 66: 2047-2053, 2003.
- 3) 有阪治, 吉原重美, 福田典正：ホメオスターシス維持の分子機構－水. 小児内科 35: 4) 1794-1799, 2003.
- 5) 有阪治：肥満判定の実際- adiposity rebound とは. 小児科臨床 56:2347-2354,2003.
- 6) 有阪治：いつから男女の意識が生まれるのか. 栃木県医師会雑誌 5:123-124, 2003.
- 7) 加納健一：夜尿症の病態と治療 薬物療法－最新の薬物療法を中心として－. 泌尿器外科 16:211-215, 2003.
- 8) 加納健一：フルボキサミンの夜尿症児に対する効果. 小児科臨床 56:1773-1778, 2003.
- 9) 鈴木宏：輸液フィルターの新しい知識. ネオネイタルケア春期増刊 201-206, 2003.
- 10) 吉原重美：小児喘息治療における最近の話題. 広島県小児科医会会報 35: 8-11, 2003.
- 11) 吉原重美： $\beta 2$ 刺激薬の最近の動向 小児科. Asthma Frontier , 2: 104-112, 2003.
- 12) 吉原重美：最近の小児気管支喘息の治療. 高知県小児科医会報 16:19-22, 2003.
- 13) 吉原重美： $\beta 2$ 刺激薬について. アレルギーの臨床 23: 505-513, 2003.
- 14) 吉原重美, 山田裕美, 有阪治：下気道ウイルス感染と喘息発症. 医学のあゆみ 207: 512-517, 2003.
- 15) 吉原重美, 山田裕美, 有阪治：好中球－アレルギー性の気道炎症と細胞－ アレルギー・免疫, 10:968-975,2003.
- 16) 吉原重美, 山田裕美, 有阪治：好中球－喘息に関する細胞をめぐって (最近の進歩)－ 第 22 回六甲カンファレンス記録集 81-91, 2003.
- 17) 阿部利夫, 有阪治：消化管内の胆汁酸センサーとしてのビタミン D 受容体. 内分泌・糖尿病科 17: 475-478, 2003
- 18) 山田裕美, 吉原重美, 有阪治：気道ウイルス感染と喘息発症. 小児科診療 66: 1347-1352, 2003.

「報告書」

- 1) 有阪治, 小嶋恵美, 沼田道生, 今高麻理子：子どもの生活習慣病とリポ蛋白粒子サイズ. 平成 14 年度厚生科学研究補助金 (子ども家庭総合研究事業) 研究報告書 分担研究「小児の生活習慣と生活習慣病の予防に関する研究－小児における LDL 粒子および HDL 粒子サイズについて」報告書 2003.
- 2) 有阪治：小型高密度低比重リポ蛋白の出現と血清脂質パターンについて. 小児の肥満・代謝研究会報告書 2003.
- 3) 吉原重美：VIP 及び PACAP 誘導体の気管支喘息吸入治療薬への応用に関する基礎研究. 平成 13－14 年度科学研究 (基盤研究 C) 報告書, pp1-18, 2003.
- 4) 吉原重美, 山田裕美, 渡辺重明, 阿部利夫, 有阪治：家畜血液由来オピオイドペプチドの抗炎症薬への応用に関する研究 (3)－モルモットにおけるヘモルフィン 6 の抗原誘発気道神経原性炎症に対する抑制機序－伊藤記念財団, 食肉に関する助成研究調査成果報告書, 21, pp244-247, 2003.
- 5) 吉原重美：アレルギー疾患に係わる胎内・胎外因子に関する研究－乳児喘息の発症に及ぼす RS ウイルスによる細気管支炎の影響－平成 14 年度厚生労働省科学研究 (免疫・アレルギー等研究事業) 研究報告書, pp47-49, 2003.

- 6) 吉原重美：アレルギー疾患に係わる胎内・胎外因子に関する研究—乳児喘息の発症に及ぼすRS ウイルスによる細気管支炎の影響—平成 12—14 年度厚生労働省科学研究（免疫・アレルギー一等研究事業）総合研究報告書, pp93-102, 2003.
- 7) 海老澤元宏, 吉原重美他 25 名：食物アレルギーの実態及び誘発物質の解明に関する研究—食物アレルギーの診断に関する研究. 平成 14 年度厚生労働省科学研究（免疫・アレルギー疾患予防・治療研究事業）報告書, pp4-8, 2003.

「学会発表」など

- 1) Kano K, Nishikura K, Arisaka O: Osteoporosis in a girl with nephritic syndrome due to chyluria. Scientific Sattellite Symposium on Pediatric Bone Disease Osaka, 2003.6.
- 2) Kano K, Nishikura K, Yamada Y, Arisaka O: Effect of fluvastatin and dipyridamole on proteinuria and renal function in childhood IgA nephropathy with mild histological findings and moderate proteinuria. 40th ERA-EDTA Congress Berlin, 2003.6.
- 3) Yoshihara S, Yamada Y, Abe T, Kashimoto K, Lindén A, Arisaka O: Long lasting smooth muscle relaxation by a novel PACAP analogue in human bronchi. The 6th international symposium on VIP, PACAP and related peptides, Hakone, Japan, 2003.9.
- 4) Koyama S, Kojima M, Kanazawa S, Kuribayashi T, Arisaka O, Tsuchiya K: A Case of Dilated Cardiomyopathy with Growth Hormone Deficiency. 第 17 回小児成長障害研究会, 京都, 2003.11.
- 5) 吉原重美：小児喘息を語る. 第 2 回山梨喘息研究会コメンテーター, 甲府, 2003.1.
- 6) 鈴木直光：発達障害に関する研修会講演「PDD・ODD について」壬生町立壬生東小学校, 壬生, 2003.1.
- 7) 有阪治：小児の肥満について. 日本臨床検査医学会技術部会研修大会, 宇都宮, 2003.2.
- 8) 有阪治：子どもの生活習慣病とリポ蛋白粒子サイズについて. 平成 14 年度厚生労働省科学研究（難治性疾患克服事業）糖尿病および生活習慣病を持つ子どもの QOL 改善のための研究合同班会議, 相模原, 2003.2.
- 9) 有阪治：小児の生活習慣病について. 藤岡町教育委員会学術講演会, 藤岡, 2003.2.
- 10) 吉原重美：最近の長期管理薬による小児喘息治療. 第 41 回静岡小児アレルギー研究会;特別講演, 静岡, 2003.2.
- 11) 吉原重美：小児気管支喘息の最新の話. 第 21 回埼玉喘息アレルギー研究会;特別講演, さいたま, 2003.2.
- 12) 吉原重美：小児アレルギー疾患の診断と治療. 栃木県臨床検査技師研究会;特別講演, 壬生, 2003.2.
- 13) 吉原重美：小児気管支喘息について. 栃木県西健康福祉センター喘息相談会, 鹿沼, 2003.2.
- 14) 有阪治：脳の性分化と外性器の性分化. 第 21 回栃木県心身医学研究会, 壬生, 2003.3.
- 15) 有阪治：子どもの救急疾患への対応. 栃木県医師会研修会, 小山, 2003.3.
- 16) 吉原重美：最近の小児気管支喘息の治療. 高知小児科医学会学術講演会;特別講演, 高知, 2003.3.
- 17) 山田裕美, 小嶋恵美, 平尾準一, 吉原重美, 有阪治：小児睡眠時無呼吸症候群における簡易型睡眠時無呼吸レコーダーEden-trace II の有用性. 第 5 回東京小児 HOT シンポジウム, 品川, 2003.3.
- 18) 清水亜妃, 吉原重美, 小野三佳, 山田裕美, 阿部利夫, 菅野訓子, 有阪治：小児気管支喘息 201

例における DSCG 吸入の早期介入 (Early Intervention) 効果. 第 98 回栃木県小児科地方会, 壬生, 2003.3.

- 19) 根岸正穂, 奥谷真由子, 坪井龍生, 新田晃久, 三上哲也, 鈴木宏, 有阪治: 経皮的中心静脈ダブルルーメンカテーテルの利点と問題点. 第 98 回栃木県小児科地方会, 壬生, 2003.3.
- 20) 山崎弦, 小嶋恵美, 金澤早苗, 栗林武男, 有阪治: 小児の 2 型糖尿病のまとめ. 第 98 回日本小児科学会栃木県地方会, 壬生, 2003.3.
- 21) 有阪治: ターナー症候群. 日本イーライリリー社内講演会, さいたま, 2003.4.
- 22) 吉原重美, 西間三馨, 馬場実: 小児気管支喘息児に対するツロブテロール貼付薬の気道過敏性に及ぼす影響. 第 106 回日本小児科学会学術集会, 福岡, 2003.4.
- 23) 金澤早苗, 菅野普子, 根岸正穂, 小嶋恵美, 有阪治: 成長ホルモン欠損状態における骨ミネラル獲得量. 第 106 回日本小児科学会, 福岡, 2003.4.
- 24) 金澤早苗, 小嶋恵美, 栗林武男, 有阪治: 脳腫瘍手術後に中枢性塩喪失を生じた 1 症例. 第 106 回日本小児科学会, 福岡, 2003.4.
- 25) 飯村昭子, 吉原重美, 阿部利夫, 山田裕美, 小野三佳, 有阪治: 小児喘息の外来診療におけるマイクロリントの有用性について. 第 106 回日本小児科学会学術集会, 福岡, 2003.4.
- 26) 奥谷真由子, 嶋岡鋼, 坪井弥生, 松永貴之, 新田晃久, 萩沢進, 鈴木宏, 黒澤秀光, 杉田憲一, 江口光興: 脊髄性筋萎縮症 1 型に眼窩原発の横紋筋肉腫を発症した 1 例. 第 106 回日本小児科学会学術集会, 福岡, 2003.4.
- 27) 鈴木宏, 三上哲也, 新田晃久, 坪井弥生, 根岸正穂, 大和田葉子, 有阪治, 江口光興, 畠井芳穂: DiGeorge 症候群を合併した CHARGE association の 1 例. 第 106 回日本小児科学会学術集会, 福岡, 2003.4.
- 28) 坪井弥生, 新田晃久, 鈴木宏, 松永貴之, 萩沢進, 山内秀雄, 有阪治, 江口光興, 田中吾朗: Gollop-Wolfgang complex を合併した CHARGE association の 1 例. 第 106 回日本小児科学会学術集会, 福岡, 2003.4.
- 29) 清水亜妃, 根岸正穂, 坪井弥生, 新田晃久, 鈴木宏, 有阪治, 廣瀬伸一, 山口修一, 長谷川有紀, 山口清次: 新生児型グルタル酸尿症 2 型の 1 例. 第 106 回日本小児科学会学術集会, 福岡, 2003.4.
- 30) 有阪治: 子どもの成長障害, 肥満について. 学校保健会養護教諭部会学術講演会, 栃木, 2003.5.
- 31) 吉原重美: 小児気管支喘息における最新の治療について. 岐阜県小児科医会学術講演会; 特別講演, 岐阜, 2003.5.
- 32) 鈴木直光, 有阪治: 広汎性発達障害児における尿中 17-hydroxycorticosteroids および 17-ketosteroid sulfates の検討. 第 45 回日本小児神経学会総会, 福岡, 2003.5.
- 33) 吉原重美: 教育講演 4-小児における LABA の有効性と安全性-. 第 15 回日本アレルギー学会春季臨床大会, 横浜, 2003.5.
- 34) 吉原重美, 山田裕美, 小野三佳, 阿部利夫, 森本宏, 有阪治: 気道でのカプサイシン知覚神経活性化におけるカンナビノイドアゴニストの作用. 第 15 回日本アレルギー学会春季臨床大会, 横浜, 2003.5.
- 35) 山田裕美, 吉原重美, 伊藤雅彦, 井原正博, 市橋光, 桃井真里子, 菅野訓子, 平尾準一, 江口光興, 有阪治: 栃木県における小児気管支喘息患者に関する保護者および医療機関のアンケート調査結果. 第 15 回日本アレルギー学会春季臨床大会, 横浜, 2003.5.
- 36) 小野三佳, 吉原重美, 山田裕美, 沼田道生, 阿部利夫, 菅野訓子, 有阪治: 小児気管支喘息 DSCG 吸入液早期治療効果における治療開始時期の検討. 第 15 回日本アレルギー学会春季臨

床大会, 横浜, 2003.5.

- 37) 加納健一, 西倉潔, 山田裕美, 有阪治: 小児軽症 IgA 腎症へのフルバスタチンとジピリダモールの尿蛋白と腎機能改善効果. 第 46 回日本腎臓学会学術総会, 東京, 2003, 5.
- 38) 小嶋恵美, 沼田道生, 金澤早苗, 今高麻理子, 栗林武男, 有阪治: 小児における動脈硬化危険因子として HDL 粒子サイズの検討. 第 76 回日本内分泌学会, 横浜, 2003.5.
- 39) 金澤早苗, 小嶋恵美, 栗林武男, 有阪治: 脳腫瘍手術後に中枢性塩喪失を生じた 1 例. 第 76 回日本内分泌学会, 横浜, 2003.5.
- 40) 吉原重美: 小児気管支喘息治療ガイドラインにおける長期管理薬の役割について. 印旛市郡医師会学術講演会;特別講演,佐倉, 2003.6.
- 41) 吉原重美: 小児喘息治療の Early Intervention. 第 37 回東北アレルギー懇話会;特別講演,秋田, 2003.6.
- 42) 吉原重美: 小児気管支喘息の治療について. 済生会宇都宮病院, 第 3 回病診連携合同カンファレンス;コメンテーター,宇都宮, 2003.6.
- 43) 山田裕美, 吉原重美, 伊藤雅彦, 井原正博, 市橋光, 桃井真里子, 菅野訓子, 平尾準一, 江口光興, 有阪治: 栃木県における小児気管支喘息患者・保護者の QOL について. 第 20 回日本小児難治喘息アレルギー学会, 三重, 2003.6.
- 44) 有阪治: 新生児期の内分泌異常. 第 25 回栃木県周産期医療研修会, 壬生, 2003.6.
- 45) 有阪治: 子どもの成長障害, 肥満について. 学校保健会養護教諭部会学術講演会, 宇都宮, 2003.7.
- 46) 加納健一: 小児科における家族ケア. 第 22 回栃木県心身症研究会, 南河内, 2003,7.
- 47) 吉原重美: 最近の小児気管支喘息治療の考え方. 県北小児科医会学術講演会;特別講演, 大田原, 2003.7.
- 48) 吉原重美: 小児喘息を語る. 第 3 回山梨喘息研究会;コメンテーター,甲府, 2003.7.
- 49) 吉原重美: 小児気管支喘息治療の up-to-date 小児喘息ガイドライン. 庄内小児科医会学術講演会;特別講演, 酒田, 2003.7.
- 50) 吉原重美: 最近の小児気管支喘息治療の考え方, 吸入療法を中心に. 真岡市医師会学術講演会;特別講演, 真岡, 2003.7.
- 51) 鈴木宏, 坪井弥生, 新田晃久, 渡辺博, 有阪治: 周産期センター化に伴う, NICU への入院患者内容の変化. 第 39 回日本新生児学会総会, 郡山, 2003.7.
- 52) 小山さとみ, 小嶋恵美, 金澤早苗, 栗林武男, 有阪治: 先天性副腎皮質過形成症(21-水酸化酵素欠損症)の遺伝子解析; 遺伝子型と表現型の関連について. 第 99 回日本小児科学会栃木県地方会, 宇都宮, 2003.7.
- 53) 西倉潔, 清水亜妃, 平尾準一, 有阪治: シクロスポリンが有効だった γ グロブリン不応の川崎病の 1 例. 第 99 回日本小児科学会栃木県地方会, 宇都宮, 2003.7.
- 54) 谷口尚司, 坪井龍生, 西倉潔, 渡部功之, 三上哲也, 新田晃久, 佐藤雄也, 山内秀雄, 鈴木宏, 有阪治, 江口光興: 当院 NICU におけるくも膜下出血症例の検討. 第 99 回日本小児科学会栃木県地方会, 宇都宮, 2003.7.
- 55) 西倉潔, 加納健一, 小嶋恵美, 山田裕美, 有阪治: 右腹腔内リンパ管腫による乳糜尿からネフローゼ症候群をきたした 1 例. 第 38 回日本小児腎臓病学会学術集会, 東京, 2003, 7.
- 56) 栗林良多, 手塚直美, 萩澤進, 杉田憲一, 江口光興: 呼吸困難で発見された胸壁原発ユーイング肉腫の 1 例. 第 15 回栃木県小児がん研究会, 壬生, 2003.7.
- 57) 有阪治: 水・電解質代謝. 第 8 回日本小児内分泌学会卒後教育セミナー, 逗子, 2003.8.
- 58) 吉原重美: 小児気管支喘息治療における Early intervention. テーマ;アレルギー疾患の早期診断

と早期介入療法. 第 14 回日光カンファレンス, 宇都宮, 2003.8.

- 59) 金澤早苗, 沼田道生, 小嶋恵美, 栗林武男, 有阪治: 低血糖時に一過性片麻痺を呈した 1 型糖尿病の 1 男児例. 第 25 回日本体液研究会, 東京, 2003.9.
- 60) 吉原重美: 小児喘息治療における最近の話題. 三重県小児科医会学術講演会;特別講演, 津, 2003.9.
- 61) 吉原重美: 小児喘息治療の up-to-date. 第 380 回山形地方小児集談会学術講演会;特別講演, 山形, 2003.9.
- 62) 吉原重美: 最近の小児気管支喘息における吸入療法. 水戸市医師会学術講演会;特別講演, 水戸, 2003.9.
- 63) 西倉潔, 清水亜妃, 平尾準一, 有阪治: シクロスポリンが有効だった γ -グロブリン不応例の川崎病の一例. 第 23 回日本川崎病研究会, 大府, 2003.9.
- 64) 小山さとみ, 小嶋恵美, 金澤早苗, 栗林武男, 有阪治, 土屋恵司: 成長ホルモン分泌不全を合併し成長ホルモン治療を行った拡張型心筋症の 1 例. 第 37 回日本小児内分泌学会, 札幌, 2003.10.
- 65) 有阪治: 外来診療に役立つ小児内分泌疾患の知識. 豊島区医師会研修会, 東京, 2003.10.
- 66) 吉原重美, 山田裕美, 福田典正, 阿部利夫, 森本宏, 有阪治: カンナビノイドアゴニストのカプサイシン気道知覚神経活性化に対する抑制作用. 第 40 回日本小児アレルギー学会, 岐阜, 2003.10.
- 67) 飯村昭子, 吉原重美, 山田裕美, 小野三佳, 阿部利夫, 有阪治: 小児喘息外来診療におけるマイクロリントとピークフローメーターの有用性に関する比較検討. 第 40 回日本小児アレルギー学会, 岐阜, 2003.10.
- 68) 阿部利夫, 山田裕美, 吉原重美, 有阪治: 短時間作動型より長時間作動型 β 刺激薬に変更しコントロール良好になった難治性小児気管支喘息の一例. 第 40 回日本小児アレルギー学会, 岐阜, 2003.10.
- 69) 吉原重美, 山田裕美, 小野三佳, 福田典正, 阿部利夫, 森本宏, 有阪治: カンナビノイドアゴニストによるカプサイシン気道知覚神経活性化の抑制機序に関する検討. 第 53 回日本アレルギー学会総会, 岐阜, 2003.10.
- 70) 山田裕美, 松本健治, 橋本宣子, 加藤享, 本間俊樹, 斎藤博久, 七種美和子, 吉原重美, 有阪治: ヒト気道上皮細胞における RSV 感染による遺伝子発現の検討. 第 53 回日本アレルギー学会総会, 岐阜, 2003.10.
- 71) 小山さとみ, 小嶋恵美, 金澤早苗, 栗林武男, 有阪治, 土屋恵司: 成長ホルモン分泌不全を合併し成長ホルモン治療を行った拡張型心筋症の 1 例. 第 16 回栃木県こどもの成長を考えるフォーラム, 宇都宮, 2003.10.
- 72) 金澤早苗, 小嶋恵美, 小山さとみ, 栗林武男, 有阪治: 自律性機能性卵巣嚢胞の 20 歳までの長期経過観察. 第 16 回栃木県こどもの成長を考えるフォーラム, 宇都宮, 2003.10.
- 73) 金澤早苗, 沼田道生, 中川栄二, 山内秀雄, 栗林武男, 有阪治: 低血糖時に一過性片麻痺を呈した 1 幼児例. 第 37 回日本小児内分泌学会, 札幌, 2003.10.
- 74) 小嶋恵美, 菅野普子, 沼田道生, 金澤早苗, 今高麻理子, 小山さとみ, 有阪治: 動脈硬化形成性 small dense LDL の出現と血清脂質パターンの関係. 第 37 回日本小児内分泌学会, 札幌, 2003.10.
- 75) 小嶋恵美, 菅野普子, 沼田道生, 金澤早苗, 今高麻理子, 小山さとみ, 有阪治: 動脈硬化予知因子としてのリポ蛋白(a)濃度とインスリン抵抗性指標としての LDL 粒子サイズとの関係について. 第 37 回日本小児内分泌学会, 札幌, 2003.10.

- 76) 金澤早苗, 小嶋恵美, 栗林武男, 有阪治: 幼児期自律性機能性卵巣嚢胞の成人期までの観察経過. 第 37 回日本小児内分泌学会, 札幌, 2003.10.
- 77) 山崎弦, 金澤早苗, 小山さとみ, 小嶋恵美, 有阪治: 骨成長 oscillation 先天性副腎過形成症および非内分泌性低身長 of 長期的な骨代謝変動の比較. 第 37 回日本小児内分泌学会, 札幌, 2003.10.
- 78) 吉原重美: 喀痰から得られる小児喘息についての情報とその有用性. 第 11 回ニューロペプチド研究会シンポジウム, 岐阜, 2003.10.
- 79) 加納健一: 内科系臨床医として知っておきたい小児腎疾患について. 第 2 回糖尿病腎血管に関する研究会, さいたま, 2003.11.
- 80) 有阪治: 肥満と肥満遺伝子. 小児の肥満・代謝研究会, 2003.11.
- 81) 加納健一: 河内郡市学校腎臓検診のポイント. 平成 15 年度保護者説明会, 宇都宮, 2003.11.
- 82) 小嶋恵美, 山崎弦, 沼田道生, 小山さとみ, 金澤早苗, 有阪治: 動脈硬化性 small dense LDL の出現と血清脂質パターンとの関係. 第 17 回日本小児脂質研究会, 高槻, 2003.11.
- 83) 小嶋恵美, 菅野普子, 沼田道生, 小山さとみ, 金澤早苗, 有阪治: 小児における small dense LDL 粒子の出現と血清脂質パターンとの関連性について. 第 24 回日本肥満学会, 幕張, 2003.11.
- 84) 金澤早苗, 小嶋恵美, 有阪治: 幼児期に間欠的な乳房腫大と性器出血を繰り返した 2 女児の 20 歳までの成長発育の経過. 第 50 回日本小児保健学会, 鹿児島, 2003.11.
- 85) 小嶋恵美, 金澤早苗, 有阪治: 生活習慣病の指標としての低比重リポ蛋白粒子の小型化は一般臨床検査での予測が可能である. 第 50 回日本小児保健学会, 鹿児島, 2003.11.
- 86) 吉原重美: 小児気管支喘息治療の最近の知見. 京都小児科医会学術講演会;特別講演, 京都, 2003.11.
- 87) 吉原重美: 小児気管支喘息治療の最前線. 第 1 回名古屋小児呼吸器, アレルギー研究会;特別講演, 名古屋, 2003.11.
- 88) 吉原重美: よく見られる幼児の病気について. 第 19 回鹿沼地区幼稚園 PTA 大会;講演, 鹿沼, 2003.11.
- 89) 吉原重美: 小児気管支喘息治療の早期介入. 埼玉アレルギー研究会;特別講演, さいたま, 2003.11.
- 90) 吉原重美: 最新の小児喘息治療の考え方. 長崎県小児科学術講演会;特別講演, 長崎, 2003.11.
- 91) 鈴木宏, 新田晃久, 有阪治: 同胞に 4 名の肺低形成, 2 名の先天性心疾患を認めた 1 家系. 第 26 回小児遺伝学会, 長崎, 2003.11.
- 92) 山田裕美, 小嶋恵美, 吉原重美, 有阪治: アトピー咳嗽が疑われロラタジンが奏効した慢性咳嗽の一女兒例. 第 36 回日本小児呼吸器疾患学会, 徳島, 2003.11.
- 93) 阿部利夫, 吉原重美, 山田裕美, 小野三佳, 沼田道生, 菅野訓子, 有阪治: 小児気管支喘息における DSCG 吸入薬の Early Intervention 効果—吸入ステロイド薬導入率の比較を含む—. 第 11 回臨床喘息研究会, 大阪, 2003.11.
- 94) 吉原重美, 松田隆子, 内田幸介, 川又均, 柳田修, 今村武佳, 本田幹彦, 武藤孝司, 徳留省吾, 金子昇 (チュートリアル教育委員会) 獨協医科大学における PBL チュートリアル教育の学生評価法と今後の課題. 第 31 回獨協医学会, 獨協, 2003.11.
- 95) 小山さとみ, 小嶋恵美, 金澤早苗, 新田晃久, 栗林武男, 鈴木宏, 有阪治: 先天性副腎皮質過形成症 (21-水酸化酵素欠損症) の遺伝子型と表現型の関係について: 55 例での検討. 第 43 回栃木県総合医学会, 宇都宮, 2003.11.
- 96) 小山さとみ, 税所純敬, 下澤和彦, 有阪治: 21-水酸化酵素欠損症 52 例の遺伝子解析: 新たな

遺伝子異常と構造遺伝子に変異を認めない症例の同定. 第 8 回日本生殖内分泌学会, 横浜, 2003.11.

- 97) 鈴木直光: 発達支援療育相談事業; 栃木市アルス幼稚園, 栃木, 2003.11.
- 98) 有阪治: 子どもの成長障害, 肥満について. 平成 15 年度那須地区学校保健大会, 大田原, 2003.12.
- 99) 鈴木直光: 今市市立大沢小学校事例研究会; 今市市大沢小学校, 今市, 2003.12.
- 100) 吉原重美: 乳幼児喘息の Early intervention. 第 3 回群馬小児アレルギー性炎症研究会; 特別講演, 前橋, 2003.12.
- 101) 加納健一, 西倉潔, 山田裕美, 有阪治: 10 歳時の学校検尿で異常を指摘され, 11 歳時に MPGN と診断されステロイドによる骨密度減少をきたし, アレンドロネイトにより骨密度が増加した 22 歳女性例. 第 21 回小児代謝性骨疾患研究会, 千代田, 2003.12.
- 102) 白岩妙子, 加納健一, 清水亜妃, 山田裕美, 有阪治: 多発性ステロイド性椎体骨折を合併したステロイド依存性ネフローゼ症候群からシクロスポリン短期高トラフ値によって離脱できた 1 女児例. 第 21 回小児代謝性骨疾患研究会, 千代田, 2003.12.

「その他」

- 1) 加納健一: こどものみかた (21) 夜尿症 遺糞症 下野新聞, p 10, 2003, 10.13.
- 2) 加納健一: こどものみかた (29) 尿の異常 (学校検尿) 下野新聞 p10, 2003, 12.22.
- 3) 加納健一: こどもの腎臓病 (6) リビングマロニエ 564:11 2003,1.11.
- 4) 加納健一: こどもの心と病気 (15) リビングマロニエ 567:10 2003, 2.1.
- 5) 加納健一: こどもの腎臓病 (7) リビングマロニエ 572:2 2003, 3.15.
- 6) 加納健一: こどもの心と病気 (16) リビングマロニエ 576:11 2003, 4.12.
- 7) 加納健一: こどもの腎臓病 (8) リビングマロニエ 579:13 2003, 5.10.
- 8) 加納健一: こどもの腎臓病 (9) リビングマロニエ 583:4 2003, 6.7.
- 9) 加納健一: こどもの腎臓病 (10) リビングマロニエ 587:14 2003, 7.5.
- 10) 加納健一: こどもの心と病気 (17) リビングマロニエ 593:6 2003, 8.30.
- 11) 加納健一: こどもの心と病気 (18) リビングマロニエ 594:10 2003, 9.6.
- 12) 加納健一: こどもの腎臓病 (11) リビングマロニエ 598:2 2003, 10.4.
- 13) 加納健一: こどもの心と病気 (19) リビングマロニエ 602:4 2003, 11.1.
- 14) 加納健一: こどもの腎臓病 (12) リビングマロニエ 606:6 2003, 12.6.
- 15) 加納健一: 年末年始のこどもの急性疾患の対処法 リビングマロニエ 609:17
- 16) 吉原重美: 栃木県に於ける小児気管支喘息患者および保護者の実態調査結果報告. 第 2 回栃木県喘息フォーラム記録集, 4-14, 2003.
- 17) 吉原重美: 小児喘息における $\beta 2$ 刺激薬の使い方-喘息治療における $\beta 2$ 刺激薬の現状と将来の展望-. 第 52 回日本アレルギー学会イブニングシンポジウム記録集, 13-17, 2003.
- 18) 吉原重美: トシル酸スプラタストによる小児喘息 Early Intervention の可能性. 第 3 回喘息 Early Intervention 研究会記録集, 4-5, 2003.
- 19) 吉原重美: 小児アレルギー疾患の増加と環境因子. 第 13 回日光カンファレンス「生活の近代化とアレルギー」, アレルギー・免疫, 10: 686-68, 2003.
- 20) 吉原重美: 食物アレルギー. 県内小児科医カルテ 12, 下野新聞, 8 月 4 日, 2003.
- 21) 吉原重美: 教育・アドベンチャー; ぜんそくと向き合おう. 朝日新聞, 8 月 29 日, 2003.

- 22) 吉原重美, 美濃口健治, 中川武正 : 『軽症喘息にロイコトリエン受容体拮抗薬は有効か。』ロイコトリエン座談会, 喘息, 16, 72-79, 2003.
- 23) 吉原重美, 河野陽一, 永倉俊和, 森川昭廣 : 『 β 2 刺激薬の臨床的位置づけー小児科領域ー』 β 2 刺激薬座談会, アレルギー・免疫, 10: 1486-1490, 2003.
- 24) 山田裕美 : 小児気管支喘息, 県内小児科医カルテ, 下野新聞, 2003.9